

第7回 夏の環境エネルギーセミナー in 鹿児島

いじめでは戦争は起こりませんが、エネルギー問題では戦争が起こります。環境エネルギー教育を行うことは、資源がほとんどない日本にとって、重大かつ重要な問題なのです。5年後、10年後、エネルギーの問題は、確実に日常生活に影響を及ぼしてきます。京都会議議定書が発効された今、子どもの未来、日本の未来のためにできること、それは、「教育」です。どうぞ、この機会に共に学ばれてみませんか？

- 1 主催
鹿児島エネルギー教育研究会
- 2 後援・協力
九州エネルギー問題懇話会・九州電力鹿児島支店
- 3 日時
平成17年7月30日(土) 13:00~16:30

参加費・資料代無料
さらに山ほどのおみやげがもらえます

- 4 会場
鹿児島県市町村自治会館 401会議室
(鹿児島市鴨池新町7番4号【県庁の向かい側です】電話099-206-1010)
- 5 日程・内容(予定)

今年は、エネルギーについて全然知らない人でもわかるように、4本の講座を準備しました。エネルギー教育の基礎から最新の話まで、わかりやすく解説します。

- 13:00~13:15 講座1「エネルギー教育基礎の基礎 何から始めればいいのか」
エネルギー教育全くの初心者が
第一歩を踏み出せるようにするための
示唆を与えるための講座です。
なぜエネルギー教育が必要なのか。
最初の授業では何をしたらいいのか。
何を準備したらいいのか。
気を付けなければいけないことは何か。
この講座を受けて、「私にもできるかも」と思ってもらえたら
と考えています。
- 13:15~13:30 講座2「総合的な学習にエネルギー教育をどう組み込むか」
エネルギー教育を行うには、総合的な学習の時間の確保が最も有効です。
しかし、専門的な知識を必要とするエネルギー教育を
総合に組み込むのは、容易ではありません。そこで、
実際に指導計画の作成経験のある先生の方策などをお伝えします。

- 13:30~13:55 模擬授業+向山弟子一門によるコメント
- 13:55~14:10 休憩
- 14:10~14:25 講座3「どんどん増え続ける核廃棄物の行方」
過日、笠沙町長の中尾昌作氏が
宇治群島への最終処分場誘致表明で大反対を受けました。
世論は町長を叩いています、本当にそれでいいのでしょうか。
九州で使用する電気のうち、4割は原子力発電でつくられたものです。
その恩恵を受けている私たちは、核廃棄物の今後について
真剣に考えなければなりません。
そのことを、模擬授業を通して問題提起します。
- 14:25~14:40 講座4「日本企業のCO2削減努力」
京都議定書が発効しました。
日本は6%のCO2削減義務を背負っています。
日本の企業はこれまでも血のにじむような努力を続けてきました。
これからはさらにもっと厳しい状況に立たされます。
しかしそれにも負けずに努力を続ける
日本企業の偉大さを、模擬授業を通して伝えます。
- 14:40~15:05 エネルギー最新教材+ユースウェア紹介
エネルギー子どもサイト紹介
改訂版エネルギー学習スキル、火力発電キット、燃料電池キット、
えねもんくん、発電の仕組みパズル、エネルギーかるた、
エネルギーすごろく(紙・CD)、インターネットランド子どもサイトなど、
すぐに使える教材・教具のユースウェアをお伝えします。
- 15:05~15:20 休憩
- 15:20~16:20 講演 鹿児島大学名誉教授 松村博久氏
「高速増殖炉もんじゅの現状」
- 16:20~16:30 Q & A・アンケート記入
- 6 申し込み方法
FAXかメールでお申し込みください(右のバーコードからでも可)

<http://energy.genta80.com/>



FAX 下の申込用紙に記入の上、0996-63-4663まで
メール 下の申込用紙の項目を本文に入れて、genta80@nifty.com まで

申し込み・問い合わせ先は、出水市立米ノ津小学校教諭の西田裕之です。
自宅 0996-63-4663
勤務先 0996-67-1119
携帯 090-7920-1461
お申し込みいただいた方には、こちらから折り返しご連絡差し上げます。

第7回 夏の環境エネルギーセミナーin鹿児島 FAX申込用紙 番号 0996-63-4663(電話兼用) 西田宛

お名前(フリガナ)	
メールアドレス(あれば)	
勤務校	